

ラバーコートメタル生産ラインの導入

今から13年前の2011年より、新たに低環境負荷な塗工方法の検討から鋼板への塗料塗布方法の試作設備を導入した。

この塗工方法は一般的にはラバーコートメタルとして広く知られており、ステンレスなどの鋼帯に直接塗料を塗布する工法であるが、当社のようなプレス加工製品を生産している企業が、自前でこの素材を生産するという事は、あまり類を見ないと思う。

また、低環境負荷な塗料塗布技術として通常鋼板の洗浄にはアルカリ洗浄を行うが、当社では紫外線洗浄を採用している。また、塗料の乾燥には通常、ガス炉を使用したりするが、当社では近赤外線を用いたハイブリッド電気炉を採用している。

現在のSDGSの観点やカーボンニュートラルの観点などからも、時代にマッチした生産工法をいち早く取り入れて生産を開始した。

当時、当社にとってチャレンジ的な取り組みではあったので、当時は試行錯誤の繰り返して、中々思う様な結果が出ず苦労した。しかし、このチャレンジを克服する過程で、新たな気付きもあり、当社が長年行っていた塗料の塗膜乾燥技術についても、まだまだ分かっていない事が多いと気付かされ、会社全体の塗膜乾燥技術レベルが向上したと自負している。

常にチャレンジする気持ちを持つことで、個々のスキルアップにつながるのだと思う。

『Let's Challenge!!』